

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成19年8月2日(2007.8.2)

【公表番号】特表2006-527762(P2006-527762A)

【公表日】平成18年12月7日(2006.12.7)

【年通号数】公開・登録公報2006-048

【出願番号】特願2006-516807(P2006-516807)

【国際特許分類】

A 6 1 K	39/39	(2006.01)
A 6 1 K	47/30	(2006.01)
A 6 1 K	38/00	(2006.01)
A 6 1 K	31/7088	(2006.01)
A 6 1 K	47/44	(2006.01)
A 6 1 K	39/145	(2006.01)
A 6 1 K	47/48	(2006.01)
A 6 1 K	39/00	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	39/39	
A 6 1 K	47/30	
A 6 1 K	37/02	
A 6 1 K	31/7088	
A 6 1 K	47/44	
A 6 1 K	39/145	
A 6 1 K	47/48	
A 6 1 K	39/00	H

【手続補正書】

【提出日】平成19年6月12日(2007.6.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

被検体の免疫応答を調節するための薬学的組成物を調製するための、スフィンゴイド-ポリアルキルアミン抱合体の使用。

【請求項2】

被検体のインフルエンザウイルスに対する免疫応答を増強又は刺激するための薬学的組成物を調製するための、N-パルミトイール D-エリスロスフィンゴシルカルバモイル-スペルミン(CCS)の使用。

【請求項3】

(1)少なくとも一つのスフィンゴイド-ポarialキルアミン抱合体と、  
(2)少なくとも一つの生物学的に活性な分子と

を含む、被検体の免疫応答を調節するための薬学的組成物。

【請求項4】

ヘマグルチニンノイラミニダーゼとともに、N-パルミトイール D-エリスロスフィンゴシルカルバモイル-スペルミン(CCS)を含むワクチン。

【請求項5】

(1) スフィンゴイド - ポリアルキルアミン抱合体と、  
(2) 被検体の免疫応答を調節することができる生物学的に活性な分子と  
を含む複合体。

【請求項6】

(1) N - パルミトイール D - エリスロスフィンゴシルカルバモイル - スペルミン ( CCS ) と、

(2) 被検体の免疫応答を調節することができる生物学的に活性な分子と  
を含む複合体。

【請求項7】

スフィンゴイド - ポリアルキルアミン抱合体と、捕捉剤としての前記抱合体の使用説明書とを備えた、生物学的に活性な分子を捕捉するためのキット。

【請求項8】

N - パルミトイール D - エリスロスフィンゴシルカルバモイル - スペルミン ( CCS ) と、捕捉剤としての前記抱合体の使用説明書とを備えた、生物学的に活性な分子を捕捉するためのキット。